

0.5V、0.05V、5mVなどの設定をすることになる。

5V以上の場合は、前章6. オペボルの項参照いただきたい。  
V.C.G.の+1Vのバイアス電圧は、OPアンプの⊕  
5Vを変化させても行なえる。おどろくべき高性能の電圧  
計となる。

原理的な考察の過程を述べ、説明を加える。

74LS624、625、627などのV.C.G.は、入力端子の電圧  
を1~5Vまで変化させたとき、周波数が電圧に比例して高  
くなるA-D変換器である。例えば、100PFを用いた場合出

力周波数が1MHZ~6MHZに変化する。

これを表示する場合、入力0Vのとき0HZ。5Vのときに  
5MHZであれば、7桁表示で表わせることになる。すなわち、  
検出部で0VはV.C.G入力1V、このときのV.C.G出力周波数は  
1MHZだから1MHZを減算する回路を用いて0HZと表示。  
次に、検出部入力5Vのとき、V.C.G入力5Vで、V.C.G出力が  
6MHZ、減算回路を通して5MHZという表示ができる。

〔図23〕

